

財務会計論 A		講義	教授 安藤 鋭也
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 選択必修科目、経営・経済 コースの専門選択科目、教 職科目	科目ナンバリング	23012201 25320202

1. 授業のねらい・概要

会計は、企業外部の利害関係者(例えば株主や銀行)への報告を目的とする財務会計と、企業内部のマネジメント層(例えば社長や CFO)が経営に役立てることを目的とする管理会計に分類されます。この授業では財務会計に関して、(財務会計の)基本的な考え方を主に理論面から、出来るだけ分かりやすく丁寧に説明します。

前期の財務会計論 A では、(第 1 章)総論～(第 6 章)負債会計を取り上げます。(第 7 章)資本金～(第 12 章)財務諸表の分析は、後期の財務会計論 B で取り上げる予定です。

受講にあたっては、「会計学基礎」「会計学総論」「簿記論」「3 級商業簿記」の履修、またはそれに準ずる基礎知識を有していることが望ましいです。

2. 授業の進め方

テキストの内容に沿った講義形式を基本とします。同時に、新聞・雑誌などから具体的な事象を取り上げて説明します。いずれにおいても、皆さんの積極的な参加を心から歓迎します。

3. 授業計画

1. ガイダンス	9. 第 5 章 資産会計 (1)意義、分類
2. 第 1 章 総論	10. 第 5 章 資産会計 (2)棚卸資産
3. 第 2 章 企業会計の仕組み(技術) (1)BS、PL	11. 第 5 章 資産会計 (3)金融資産
4. 第 2 章 企業会計の仕組み(技術) (2)財産法、損益法	12. 第 5 章 資産会計 (4)固定資産、繰延資産
5. 第 2 章 企業会計の仕組み(技術) (3)棚卸法、誘導法	13. 第 6 章 負債会計 (1)意義、分類
6. 第 3 章 企業会計の仕組み(理論) (1)会計基準	14. 第 6 章 負債会計 (2)引当金
7. 第 3 章 企業会計の仕組み(理論) (2)会計原則	15. まとめ
8. 第 4 章 企業会計制度	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回テキストの該当箇所を事前に読んできて下さい(30 分程度)。また学修内容の定着には復習が不可欠です。前回の授業内容は、配布資料も使って理解に努めて下さい(1 時間程度)。もし不明点や疑問点があれば、次回の授業で遠慮なく質問して下さい。一緒に解決しましょう。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際は、解答のポイントや出題意図を(試験)終了直後に説明します。

6. 授業における学修の到達目標

財務会計の基本的な考え方を理解した上で、現行のわが国の企業会計制度の概要を把握することが目標です。

7. 成績評価の方法・基準

平常点 50%(授業への取り組み姿勢)およびレポートの結果 50%の割合で成績評価を行います。

8. テキスト・参考文献

テキストは、新井清光・川村義則(2020)『新版 現代会計学(第 3 版)』中央経済社を使用します。本テキストは改訂される可能性があります。授業では最新版を使用します。参考文献は適宜紹介します。

9. 受講上の留意事項

受講にあたっては、会計や簿記の基礎知識を有している方が望ましいです。とはいえ必要不可欠ではありません。先ずは財務会計がどんなものか知ってもらえるよう、出来るだけ分かりやすく丁寧に説明します。

ただ授業は積み上げ、内容的にはAとBでワンセットです。従って通年で毎回出席されることをお勧めします。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当します。本授業は、商社(経理部門)における実務経験も活かして指導します。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおりです。